

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	1	選択
担当教員			
久保 浩司			
水4、水5			
添付ファイル			

科目の概要	施設養育及び家庭養育の実際について、近年の動向を踏まえ教授するとともにVTR等も用いて理解を深める。また子ども虐待防止と地域の子育て支援の重要性についても事例等を活用し考えていく。更にそれぞれの内容を通じて相談援助の方法や技術の向上に努めていきたい。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション（授業の進め方、成績の評価の説明等） シラバスを事前に読んでおくこと。</p> <p>第2回 社会的養護内容とは①（講義、VTR視聴後、レポート作成） 社会的養育が必要となる社会的背景について考察する。日本の育休制度のついて調べておくこと。</p> <p>第3回 社会的養護内容とは②（講義、VTR視聴後、レポート作成） 社会的養育が必要となる社会的背景について考察する。日本の子どもの貧困率について調べておくこと。</p> <p>第4回 社会的養育の体系と児童福祉施設の概要（講義、VTRでの説明補足） 戦後の社会的養育の流れについて調べて理解しておくこと。</p> <p>第5回 社会的養育の実際①「日常支援」（事例紹介、グループディスカッション） 施設養護の流れとして大きく分類するとアドミッションケア→インケア→リービングケア→アフターケアがあるが、それぞれの言葉の意味を事前に調べておくこと。</p> <p>第6回 社会的養育の実際②「発達障がい」（講義、VTR視聴後、レポート作成） 近年、施設入所児で発達障がいの診断を受けている子どもが増加している。発達障がいとはどういう障がいなのか、調べておくこと。</p> <p>第7回 社会的養育の実際③「愛着障がい、トラウマケア」 近年、施設入所児を理解する上で愛着障がい、トラウマケアの理解が重要である。それぞれの言葉の意味について調べておくこと。</p> <p>第8回 社会的養育の実際④「リービングケア」 近年、子ども達の進学や自立を支援する奨学金制度の充実が進んできている。どのように変わってきているのか、事前に調べておくこと。</p> <p>第9回 社会的養育の実際⑤「アフターケア、自立援助ホーム」 自立援助ホームとはどういう施設なのか、事前に調べておくこと。</p> <p>第10回 社会的養育の実際⑥「里親制度を理解する…養育里親」 近年、社会的養育の担い手として里親制度がクローズアップされているが、それはなぜなのか、調べ考えておくこと。</p> <p>第11回 社会的養育の実際⑦「里親制度を理解する…特別養子縁組」 特別養子縁組と普通養子縁組の違いは？特別養子縁組は何歳までできるのか？など基本的な条件について調べておくこと。</p> <p>第12回 社会的養育の実際⑧「里親制度を理解する…新生児委託」 新生児委託のメリットとは？調べておくこと。</p> <p>第13回 社会的養育の実際⑨「施設養育と里親養育の連携」 国が新たに示した「新しい社会的養育ビジョン」とはどのような内容のものなのか読んで理解しておくこと。</p> <p>第14回 社会的養育の実際⑩「児童虐待の現状」 最近どのような児童虐待事案が起こっているのか、新聞等を読み理解しておくこと。</p> <p>第15回 まとめ 1回～14回の振り返り</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<p>①社会的養育の現状を理解し、それに関わる関係機関の在り方について思案する。</p> <p>②社会的養育の担い手として働く保育士の役割や専門性を理解する。</p> <p>③社会的養育を必要とする子どもたちの心情に寄り添い、実際に支援するにはどうあるべきか、様々な視点で考え、議論できるようになる。</p>
授業の方法	講義形式、グループディスカッション 「第5回、第13回ではグループで互いの意見を出し合い、支援の在り方を議論する（予定）」
成績評価の方法	平常点10% 小テスト10% レポート30% 定期試験50%
教科書・テキスト	特に使用しません。授業時に随時プリント等配布予定
参考書	吉田真理編「児童の福祉を支える 演習 社会的養護内容」萌文書林 出版年2011年 小林登監修「いっしょに考える子ども虐待」明石書店 出版年2008年 松本伊智朗編「子ども虐待と貧困—「忘れられた子ども」のいない社会をめざして 明石書店出版年2010年

授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	毎回講義の初めに前回講義の内容に関する小テストを行うので、復習をしておくこと
履修上の留意事項	初回オリエンテーション時に伝えます
オフィスアワー	授業終了後の教室にて
担当教員への連絡方法	教務課に申し出ること
その他	